

# 事業報告書

---

[平成 26 (2014) 年 4 月 1 日から平成 27 (2015) 年 3 月 31 日まで]

平成 27 年 5 月 21 日

学校法人 佑愛学園

# 法人の概要

## 1. 建学の精神

『佛心尽障』（知恵と慈しみの心を持って障がいをもつ人々の心身を広く支える）

## 2. 学校法人の沿革

昭和 57 年 3 月	学校法人佑愛学園	設立認可
昭和 57 年 4 月	専門学校愛知医療学院	理学療法学科設置（入学定員 30 名）
平成 6 年 4 月	専門学校愛知医療学院	作業療法学科設置（入学定員 40 名）
	同	理学療法学科定員増（入学定員 40 名）
平成 9 年 4 月	日本福祉建築専門学校	福祉建築学科設置（入学定員 80 名）
平成 16 年 3 月	日本福祉建築専門学校	福祉建築学科閉校
平成 20 年 4 月	愛知医療学院短期大学	リハビリテーション学科設置
平成 22 年 3 月	専門学校愛知医療学院	閉校
平成 22 年 4 月	愛知医療学院短期大学	専攻科リハビリテーション科学専攻設置
平成 26 年 6 月	ゆうあいリハビリクリニック・ゆうあいデイケアセンター	設置

## 3. 設置する学校・学科など

- (1) 愛知医療学院短期大学 リハビリテーション学科  
専攻科リハビリテーション科学専攻
- (2) 医療・福祉業（ゆうあいリハビリクリニック・ゆうあいデイケアセンター）

## 4. 学校・学科等の学生数の状況（平成 26 年 5 月 1 日現在）

表 1

学校名	学科	入学定員数	入学者数	収容定員	現員数
愛知医療学院短期大学	リハビリテーション学科理学療法専攻	40	42	120	144
	リハビリテーション学科作業療法専攻	40	44	120	106
	専攻科リハビリテーション科学専攻	20	3	20	4
計		100	89	260	254

## 5. 役員の概要

定員数 理事 7 名・監事 2 名

表 2 理事・監事

（平成 26 年 6 月 22 日現在）

区分	氏名	常勤・非常勤の別	摘要
理事長	丹羽 治一	非常勤	昭和 57 年 4 月理事就任 平成 2 年 3 月理事長就任
理事	舟橋 啓臣	常勤	平成 22 年 10 月理事就任
理事	成瀬 隆吉	非常勤	平成 13 年 6 月理事就任
理事	中島 俊朗	非常勤	昭和 57 年 4 月理事就任 平成 10 年 5 月理事退任 平成 17 年 5 月理事就任
理事	鳥居 昭久	常勤	平成 18 年 5 月理事就任
理事	櫛田 久	非常勤	平成 25 年 4 月理事就任
理事	小川由美子	常勤	平成 26 年 6 月理事就任
監事	丹羽 義治	非常勤	平成 14 年 5 月監事就任
監事	式庄 憲二	非常勤	平成 26 年 6 月監事就任

## 6. 評議員の概要

定員数 15名

表3 評議員

(平成26年6月22日現在)

氏名	主な現職など
丹羽 治一	学校法人佑愛学園理事長
舟橋 啓臣	学校法人佑愛学園理事・愛知医療学院短期大学学長
成瀬 隆吉	学校法人佑愛学園理事・愛知医科大学名誉教授
中島 俊朗	学校法人佑愛学園理事・味美中島歯科医院院長
福井 壽男	愛知学院大学教授
阪上 隆則	千種橋歯科医院院長
岡田 久	公立陶生病院中央リハビリテーション部第3理学療法室室長
天野 孝介	特別養護老人ホーム施設長
片岡 寿雄	岩倉病院リハビリテーションセンター部長
鳥居 昭久	学校法人佑愛学園理事・愛知医療学院短期大学副学長
小川由美子	学校法人佑愛学園理事・法人本部長
阪井 義孝	阪井義孝公認会計士事務所所長
林 由恵	五条川リハビリテーション病院作業療法士
成田 正仁	ゆうあいリハビリクリニック・ゆうあいデイケアセンター事務長
杉田 貴信	杉田労務管理事務所所長

## 7. 教職員の概要

表4 教職員

【愛知医療学院短期大学】

(平成26年5月1日現在) (単位:人)

区分		法人本部	愛知医療学院 短期大学	合計	
教員	本務	学長	0	1	1
		教授	0	6	6
		准教授	0	2	2
		講師	0	3	3
		助教	0	7	7
		助手	0	0	0
	本務教員合計	0	19	19	
兼務	—	0	43	43	
職員	本務	事務系	3	7	10
		教務系	0	0	0
		本務職員合計	3	7	10
	兼務	—	1	4	5

【ゆうあいリハビリクリニック・ゆうあいデイケアセンター】

(平成26年6月9日(開設時)現在)

職種	専任	兼任	計
医師	1(学長兼務)	3	4
看護師	1	2	3
理学療法士	1	3	4
作業療法士	2	0	2
介護福祉士	0	1	1
事務長	1	0	1
受付・請求事務	1	2	3
合計	7(学長兼務)	11	18

事業の概要

[法人業務]

1. 理事会の開催

平成 26 年度における理事会の開催状況、議事内容は以下のとおりである。

表 5 平成 26 年度理事会

開催年月日	出席者数	監事の出席状況	議事内容
平成 26 年 5 月 24 日	6/6	2/2	①平成 25 年度事業報告（案）及び決算報告（案）について ②理事長選任について
平成 26 年 6 月 22 日	7/7	2/2	①理事長選任について承認を求める件
平成 26 年 7 月 31 日	7/7	2/2	①役員及び評議員の報酬等規程の変更について ②学長選考規程の変更について ③学校法人佑愛学園中期実行計画策定について ④愛知医療学院短期大学学長舟橋啓臣の定年延長について
平成 26 年 9 月 25 日	7/7	2/2	①ゆうあいりハビリクリニック職員採用について ②各種規程の変更について ③個人情報保護の基本ポリシー制定について ④学生に奨学金「夢サポート奨学金 B」を貸与することについて
平成 26 年 11 月 1 日 （文書決議）	7/7	0/2	①任期の定めのある教員 3 名を平成 27 年度再任することについて承認を求める件
平成 26 年 12 月 15 日	7/7	2/2	①ゆうあいりハビリクリニック職員採用について承認を求める件 ②愛知医療学院短期大学嘱託職員採用について承認を求める件 ③愛知医療学院学則変更について承認を求める件 ④特別聴講生規程、ゆうあいりハビリクリニック職員の研修費等の助成に関する規程制定について承認を求める件 ⑤謝金支給規程変更について承認を求める件 ⑥学生に奨学金「夢サポート奨学金 B」を貸与することについて承認を求める件
平成 27 年 3 月 26 日	7/7 意思 表示 1	2/2	①ゆうあいりハビリクリニック東側道路新設及び工事費寄付について ②平成 26 年度第一次補正予算について ③ラーニングコモンズ棟設立について ④4 年制大学への改組について ⑤平成 27 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について ⑥愛知医療学院短期大学学則変更について ⑦特待生奨学金制度規程の制定について ⑧各種規程の変更について ⑨愛知医療学院職員採用について ⑩愛知医療学院短期大学助教河野健一の講師昇格について ⑪組織改編について

## 2. 評議員会の開催

平成 26 年度における評議員会の開催状況、議事内容は以下のとおりである。

表 6 平成 26 年度評議員会

開催年月日	出席者数	監事の出席状況	議事内容
平成 26 年 5 月 24 日	12/13 意思 表示 3	2/2	①平成 25 年度事業報告ならびに決算報告について
平成 27 年 1 月 19 日	14/15 意思 表示 3	2/2	①任期満了に伴う監事候補者 2 名について同意を求める
平成 27 年 3 月 26 日	15/15 意思 表示 3	2/2	①ゆうあいりハビリクリニック東側道路新設及び工事費寄付について ②平成 26 年度第一次補正予算について ③ラーニングcommons棟設立について ④4 年制大学への改組について ⑤平成 27 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

## 3. 監事の職務執行状況

平成 26 年度における監事の職務執行状況は以下のとおりである。

表 7 平成 26 年度監事の職務

職務内容	実施時期	職務執行状況
監事監査	平成 27 年 5 月 5 日	①業務監査 ②財産監査
理事会・評議員会出席	理事会 評議員会開催時	①理事会・評議員会に出席し、議案の説明、審議経過及び議決内容を確認し、業務執行の状況を把握するとともに監事として意見具申
学校法人監事研修会出席	平成 26 年 10 月 31 日	①私学行政の課題と現状 ②学校法人会計基準の改正について ③有識者講演

#### 4. 事業の概要

法人の平成 26 年度の取組みとして、新棟建設（1F：収益事業、2F：短大校舎）ならびにゆうあいりハビリクリニックの新規稼働に向けて、経営資源（人的・物的・財的）を集中したことに尽きる。スケジュールが大幅に遅れるというアクシデントがあったが、平成 26 年 5 月 24 日竣工、6 月 9 日にクリニックを開院した。

愛知医療学院短期大学では、学生の学習成果獲得に向けた教育の充実に努めてきた。特に中途退学者の削減に向けて、教職員が課題を共有し意思統一を図った。さまざまな取り組みに注力することで、中途退学率は減少傾向で推移している。一方で、合格率ほぼ 100% を堅持してきた国家試験について 7 名の不合格者を出し、あらためて、教育そして最終目的である国家試験対策について課題を投げかけられた。

基本計画の進捗は以下のとおりである。

##### [法人の基本計画]

###### (1) 中期事業計画

法人の設立の目的・建学の精神のもと、本法人が発展し続け持続するために、中期実行計画（平成 26～30 年度）として、①臨床実習施設設立（収益事業）、②4 年制大学への改組、③こども園の設立、④キャンパスマスタープランの 4 つの基本方針が定められ、理事会を中心に鋭意検討を進めてきた。社会情勢や、本法人の現状を分析し、慎重かつ厳しい判断が必要である。

###### ①臨床実習施設設立（収益事業）

昨年度来、ゆうあいりハビリクリニックの 6 月開院に向けた準備を進めた。開院後は、地域への周知目的のための情報発信とともに、患者数・利用者数を増やすための方策に努めているが、収益を上げるまでに至っていない。今後は増収に転じるための方策の検討が必要である。

###### ②4 年制大学への改組

学生募集を含む入学生・在校生状況や教職員などの内部環境ならびに 18 歳人口の減少や、短期大学の位置付け等の本学を取り巻く外部環境を踏まえ、平成 30 年度改組に向けた準備を進めることを評議員会・理事会で確認した。今後は資金計画を含めた認可申請に向けて綿密な計画と検証を重ねていく。また、強みでもある従来からの教育に加え、さらに特色ある教育研究について検討を進め、大学化構想策定を進める

###### ③こども園の設立について

平成 27 年 3 月に策定された清須市子ども・子育て支援事業計画（計画素案）に記載されている「多様な事業者を活用しながら、保育所、小規模保育などの設置を促進する」を受けて、本法人によるこども園運営（平成 31 年度～）を市に申し入れることを評議員会・理事会で確認した。本子ども園が既設学科に対し補強の位置付けとなることを前提に、清須市の乳幼児の現状や幼児教育を取り巻く諸情勢の変化等を正確に掴み、慎重に進める。

###### ④キャンパスマスタープランについて

教育設備等充実を目的に 5 月に 5 号館を竣工し、1F は収益事業部門が使用し、2F は研究室を中心とした短大校舎として利用を開始した。平成 27 年度よりラーニングコモンズ棟の建設に向けて準備を進めることを評議員会・理事会で確認した。コンセプトを明確にした上で、改組転換を踏まえた新校舎を計画していく。

###### (2) 平成 26 年度基本計画

引き続き愛知医療学院短期大学教育の一層の充実・向上に努めるとともに、5 号館設立、ゆうあいりハビリクリニック・ゆうあいデイケアセンターの新規稼働に経営資源（人的・物的・財的）を集中した。

###### ①法人の管理運営

・多様な意見を取り入れ学校法人経営の充実・強化を目的に理事 7 名・評議員 15 名に変更し、6 月 22 日より新たな経営陣によって運営を開始した。

###### ②職員採用

・愛知医療学院短期大学の専任教職員を 3 名増員し、教育の充実に図った。ゆうあいりハビリクリニック・ゆうあいデイケアセンターにおいても医療人としてふさわしい人材を確保することができ、患者・利用者から高評価を得ている。

### ③財務

・愛知医療学院短期大学では、教育目標を確実に達成し安定的に学生を確保することで財務体質の強化を図ってきた。平成 26 年度入学者数は学科 86 名・専攻科 3 名であり、総学生数は学科 250 名・専攻科 4 名である。平成 26 年度退学率は 9.6%であり、平成 20 年度に短期大学改組後、初めてのひと桁となった。

・ゆうあいりハビリクリニック・ゆうあいデイケアセンターでは、建物や備品等の開設に伴う費用の支出に加え、収入が増えなかったことが大きく影響し、非常に厳しい収支となった。収益事業（ゆうあいりハビリクリニック）への元入金は、163,697 千円である。

・岡崎信用金庫より 200,000 千円を借り入れ、新棟建設費用の一部に充当した。

#### [短期大学の基本計画]

##### (1) 教育

昨年度に引き続き、学習アドバイザー、授業科目担当教員が中心となって学習成果の獲得に向けた取り組みを実践してきた。また、FD&SD 委員会を中心に「学習成果」や「GPA 導入」等について積極的な論考を進めており、現在も進行中である。各授業科目については、授業評価アンケート結果に基づいて全教員が作成する授業評価レポート（第 5 巻発刊）や教職員相互による授業評価により授業内容の改善に努めている。国家試験は前述のとおり非常にきびしい結果となり、次年度に向けた取り組みを確実に実施していく必要がある。

アドミッションポリシーと入学生の実像（成績等）との乖離の問題については、指定校入学試験の見直しを行い、当該問題を最小限に抑える努力を継続している。

##### (2) 研究活動の活性化

平成 24 年度より研究業績を個人研究費へ反映させており、積極的な研究活動を推進している。研究成果を発表する機会のひとつとして、平成 27 年 3 月に紀要第 6 号を発刊した。今後の 4 年制大学への改組ならびに授業の充実のためにも、さらなる研究活動の活性化を図る必要がある。

平成 26 年度科学研究費補助金獲得状況は、申請 3 件、内採択は 0 件、継続中 3 件であり、他の補助金制度を含めて競争的資金の申請・採択に向けた説教的な取り組みが必要である。

##### (3) 学生支援の充実

学生支援の充実を図っている。臨床心理士への相談は延べ 21 件であり、平成 25 年度の延べ 99 件（前年度比 21%）より大きく減少した。その要因について検証が必要である。

就職支援では、就職セミナーから就職説明会の開催など、キャリア支援委員会を中心とした積極的な就職支援に努めた。体調問題で就職しなかった 1 名を除いた卒業生（国家試験不合格者を除く）は、医療機関・福祉施設へ就職した。

さらに、夢サポート奨学金貸与者 2 名に対し経済的支援を行った。

##### (4) 外部との連携

清須市と介護予防事業官学連携会議を定例的に開催し、「清須市の介護予防」について意見交換を行ってきた。「平成 26 年度清須市一次予防事業対象者筋力維持向上事業」では、教員と学生が一体となって、らく楽運動教室を市内 2 会場で実施し、脳とからだの体力測定会も 2 会場で実施した。当該結果を市に報告することで、速やかに市による対応が行われ、参加者の介護予防に繋げることができたと評価している。

城北キャンパスに隣接する一場保育園との連携では、さつま芋づくりから食育まで、さらには運動、製作等の活動を教員・学生と園児が共に実施した。

また、年 2 回の公開講座開催に加えて「きよすスポーツ障害セミナー」の開催や清須市広報「健康のためのワンポイントアドバイス」への連載など、積極的な連携に努めた。

志願者の獲得や地域貢献のためにも、高大連携プログラムの構築や地域との連携等が継続課題である。

##### (5) 施設設備等の充実

5 号館建物、附属設備ならびに必要な機器備品について費用を充てた。また、平成 25 年度私立学校施設整備費補助金採択による語学学習室・コンピュータ室の語学演習装置（ノートパソコン）48 台をはじめとするすべてのシステムの入替えを行った。

図書室へは、書籍 114 冊・電子書籍 7 冊を受け入れた。

表 8 愛知医療学院短期大学学生数など

年 度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	前年比
入学定員	80	80	80	80	80	80	80	0
志願者数	75	76	144	130	118	211	170	△41
入学者	42	61	86	80	75	95	86	△9
うち留学生	0	0	0	0	0	0	0	0
充足率	52.5%	76.3%	107.5%	100.0%	93.8%	118.8%	107.5%	△11.3%
収容定員	80	160	240	240	240	240	240	0
現員	42	97	170	209	226	241	250	9
うち留学生	0	0	0	0	0	0	0	0
充足率	52.5%	60.6%	70.8%	87.1%	94.2%	100.4%	104.2%	3.8%
専攻科入学定員	—	—	20	20	20	20	20	0
専攻科学生数	—	4	4	4	4	2	4	2

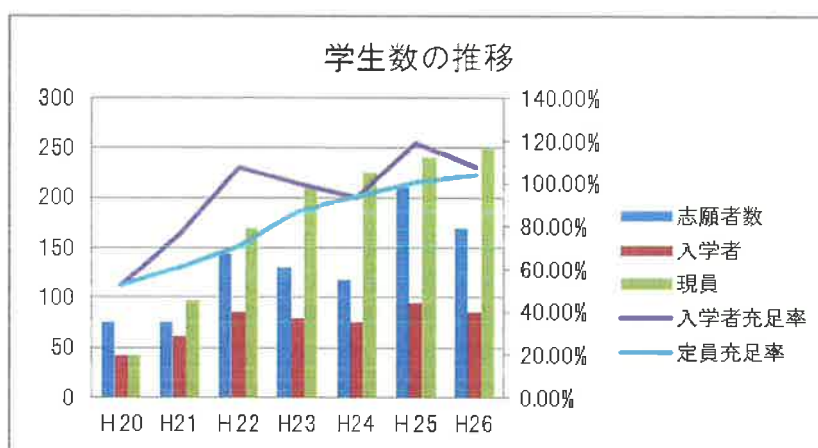


表 9 国家試験合格率

年度	専攻	本学	全国
平成 26 年度	理学療法学	96.8%	82.7%
	作業療法学	68.4%	77.5%
平成 25 年度	理学療法学	100.0%	83.7%
	作業療法学	100.0%	86.6%
平成 24 年度	理学療法学	100.0%	88.7%
	作業療法学	96.0%	77.3%
平成 23 年度	理学療法学	92.0%	82.4%
	作業療法学	100.0%	79.7%
平成 22 年度	理学療法学	92.3%	74.3%
	作業療法学	100.0%	71.0%

## 5. 対処すべき課題

- (1) 入学者を確実に確保すること（特に作業療法学専攻および専攻科）
- (2) 退学者・留年者の抑制と定員充足の継続
- (3) (2)の目的達成にむけた学習支援と情報共有（IR）
- (4) リハビリクリニックの収益を出すための取り組み
- (5) 将来構想実現に向けた取り組み



## 6. 施設などの状況

施設設備の状況は次のとおりである。

表 10 現有施設設備の所在地など

所在	地目	地積 (㎡)	目的	備考
(校地)				
愛知県清須市清洲田中町 32 番 3	宅地	332.07	校舎敷地	城南キャンパス
愛知県清須市清洲田中町 32 番 11	宅地	482.95	校舎敷地	城南キャンパス
愛知県清須市清洲古川 2761 番 5	宅地	3.12	校舎敷地	城南キャンパス
愛知県清須市清洲古川 2762 番 3	宅地	7.08	校舎敷地	城南キャンパス
愛知県清須市清洲古川 2763 番 3	宅地	2.40	校舎敷地	城南キャンパス
	小計	827.62		
清須市一場神明前 516 番	雑種地	231.00	5号館敷地	城北キャンパス
清須市一場神明前 517 番	雑種地	69.00	5号館敷地	城北キャンパス
愛知県清須市一場神明前 519 番	宅地	773.55	校舎敷地	城北キャンパス
愛知県清須市一場神明前 520 番 1	宅地	99.02	校舎敷地	城北キャンパス
愛知県清須市一場神明前 520 番 2	宅地	99.06	校舎敷地	城北キャンパス
愛知県清須市一場神明前 523 番 1	宅地	20.23	校舎敷地	城北キャンパス
愛知県清須市一場神明前 523 番 8	宅地	110.19	校舎敷地	城北キャンパス
愛知県清須市一場神明前 527 番 2	学校用地	575.00	校舎敷地	城北キャンパス
愛知県清須市一場神明前 524 番 2	宅地	120.52	校舎敷地	城北キャンパス
愛知県清須市一場神明前 561 番 1	宅地	670.00	実習用農地	城北キャンパス
愛知県清須市一場神明前 558 番 1	宅地	66.06	実習用農地	城北キャンパス
愛知県清須市一場神明前 515 番	田	439.00	倉庫置き場	城北キャンパス
	小計	3,272.63		
校地計		4,100.25		
(その他)				
愛知県清須市一場神明前 529 番 1	学校用地	30.00	駐輪場	城北キャンパス
愛知県清須市一場神明前 527 番 3	宅地	428.74	駐車場	城北キャンパス
愛知県清洲市一場神明前 528 番	学校用地	373.00	駐車場	城北キャンパス
愛知県清須市一場神明前 524 番 3	公衆用道路	23.00	校地外	城北キャンパス
清須市一場神明前 518 番 1	宅地	185.09	法人敷地(5号館)	城北キャンパス
清須市一場神明前 563 番 1	宅地	8.79	法人敷地(5号館)	城北キャンパス
清須市一場神明前 515 番 2	宅地	56.57	法人敷地(5号館)	城北キャンパス
清須市一場神明前 516 番 1	宅地	68.79	法人敷地(5号館)	城北キャンパス
	合計	1,173.98		

借地				
清須市一場神明前 523 番 7	宇佐美	152.00	その他	城北キャンパス
清須市一場神明前 526 番 2	平松	120.57	駐車場	城北キャンパス
清須市一場神明前 529 番 2	前田	164.67	その他	城北キャンパス
清須市一場神明前 530 番	津坂	753.00	グラウンド	城北キャンパス
清須市一場神明前 532 番 3	平松	21.82	駐車場	城北キャンパス
清須市一場上中畦 315 番	竹田	400.19	5号館	
清須市一場上中畦 315 番 1	竹田	43.96	5号館	
清須市一場上中畦 316 番 1	竹田	113.54	5号館	
清須市一場上中畦 322 番 1	竹田	298.70	5号館	
清須市一場上中畦 323 番 1	竹田	25.01	5号館	
清須市一場上中畦 324 番 2	竹田	3.78	5号館	
清須市一場上中畦 320 番 1	日下部	296.34	5号館(駐車場)	
清須市清洲上中畦 303 番 6 の一部	河村	6.70	5号館	
	合計	2,400.28		

表 11 校舎など

城北キャンパス	2号館 2B棟	住 所	愛知県清須市一場神明前 519
		校舎面積	2,458,87 m <sup>2</sup>
		施設概要	講義室・演習室・図書室・体育室兼講堂・学生ロッカー室 研究室 他
	3号館	住 所	愛知県清須市一場神明前 527-2
		校舎面積	1,040,2 m <sup>2</sup>
		施設概要	治療実習室・基礎医学実習室・機能回復訓練室・ コンピュータ室兼語学学習室 他
	5号館	住 所	愛知県清須市清洲上畦 315
		校舎面積	1,114,56 m <sup>2</sup>
		施設概要	1F：収益事業 2F：研究室・会議室 他
城南キャンパス 校舎 (1号館)	1号館	住 所	愛知県清須市清洲田中町 32-11
		校舎面積	1,336.05 m <sup>2</sup>
		施設概要	講義室・演習室・装具加工室・水治療室・レクリエーション室 他 他

## 財務の概要

### (1)決算の概要

#### ①資金収支計算

・収入では、学生生徒等納付金収入 372,390 千円、手数料収入 7,176 千円、寄付金 270 千円、補助金収入 56,637 千円、借入金等収入 96,000 千円などの当年度収入 616,057 千円に前年度からの繰越支払資金 680,194 千円を加えると収入の部合計は、1,296,251 千円となる。

・支出では、人件費、教育研究経費、管理経費及び施設設備など事業活動の総額は、727,671 千円となり、次年度に繰り越される支払資金は 568,580 千円となる。

表 12 資金収支計算書

【収入の部】		(単位千円)		
科目	予算	決算	差異	
学生生徒等納付金収入	372,790	372,390	400	
手数料収入	7,190	7,176	14	
寄付金収入	170	270	△100	
補助金収入	56,637	56,637	0	
資産運用収入	784	784	0	
資産売却収入	1	1	0	
雑収入	3,300	6,378	△3,078	
借入金等収入	96,000	96,000	0	
前受金収入	201,550	195,525	6,025	
その他の収入	188,738	86,170	102,568	
資金収入調整勘定	△197,755	△205,274	7,519	
<b>当年度資金収入合計</b>	<b>729,405</b>	<b>616,057</b>	<b>113,348</b>	
前年度繰越支払資金	680,194	680,194		
<b>収入の部合計</b>	<b>1,409,599</b>	<b>1,296,251</b>	<b>113,348</b>	

【支出の部】		(単位千円)		
科目	予算	決算	差異	
人件費支出	222,776	220,657	2,119	
教育研究経費支出	74,958	73,363	1,595	
管理経費支出	39,839	30,082	9,757	
借入金等利息支出	690	685	5	
施設関係支出	321,264	138,366	182,898	
設備関係支出	22,030	23,420	△1,390	
資産運用支出	70,000	151,138	△81,138	
その他の支出	104,952	104,400	552	
〔予備費〕	5,000 (0)	0	5,000 (0)	
資金支出調整勘定	△13,740	△14,440	700	
<b>当年度資金支出合計</b>	<b>847,769</b>	<b>727,671</b>	<b>120,098</b>	
次年度繰越支払資金	561,830	568,580	△6,750	
<b>支出の部合計</b>	<b>1,409,599</b>	<b>1,296,251</b>	<b>113,348</b>	

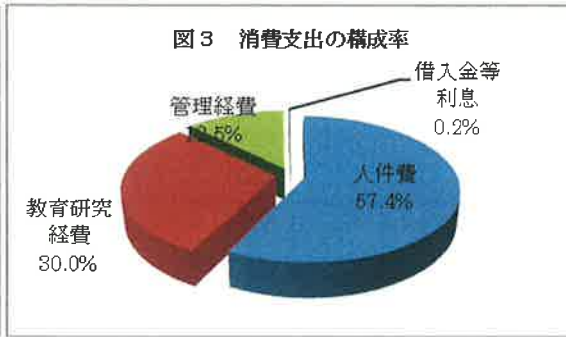
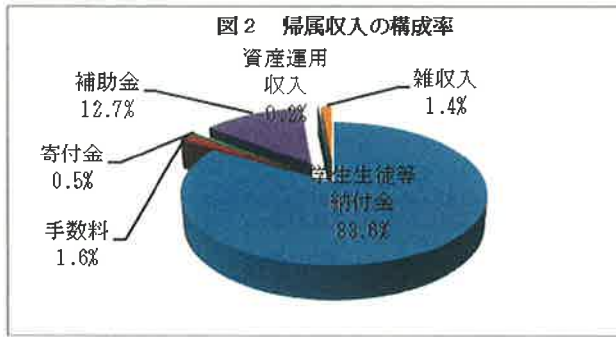
②消費収支計算

・消費収入では、帰属収入 445,381 千円で、基本金 89,753 千円を組み入れた合計は、355,628 千円となる。

・消費支出の合計は、394,274 千円で、当年度消費支出超過額は 38,646 千円となり、前年度繰越消費支出超過額 227,896 千円を加算し、基本金取崩額 3,758 千円を加えると、翌年度繰越消費支出超過額は 262,784 千円となる。

表 13 消費収支計算書

【消費収入の部】		(単位千円)		
科目	予算	決算	差異	
学生生徒等納付金	372,790	372,390	400	
手数料	7,190	7,176	14	
寄付金	1,970	2,015	△45	
補助金	56,637	56,637	0	
資産運用収入	784	784	0	
資産売却収入	1	0	1	
資産売却差額	0	1	△1	
雑収入	3,300	6,378	△3,078	
<b>帰属収入合計</b>	<b>442,672</b>	<b>445,381</b>	<b>△2,709</b>	
<b>基本金組入額合計</b>	<b>△92,459</b>	<b>△89,753</b>	<b>△2,706</b>	
<b>消費収入の部合計</b>	<b>350,213</b>	<b>355,628</b>	<b>△5,415</b>	
【消費支出の部】		(単位千円)		
科目	予算	決算	差異	
人件費	229,706	226,137	3,569	
教育研究経費	119,458	118,319	1,139	
(内減価償却額)	(44,500)	(44,956)	(△456)	
管理経費	59,046	49,133	9,913	
(内減価償却額)	(260)	(246)	(14)	
借入金等利息	690	685	5	
資産処分差額	50	0	50	
[予備費]	5,000 (0)	-	5,000 (0)	
<b>消費支出の部合計</b>	<b>413,950</b>	<b>394,274</b>	<b>19,676</b>	
帰属収支差額	28,722	51,107	-	
帰属収支差額比率	6.5	11.5	-	
当年度消費収入超過額	-	-	-	
当年度消費支出超過額	63,737	38,646	-	
前年度繰越消費支出超過額	227,896	227,896	-	
基本金取崩額	359	3,758	-	
翌年度繰越消費支出超過額	291,274	262,784	-	



### ③貸借対照表

- ・固定資産 1,671,578 千円と流動資産 585,242 千円の資産の部合計は 2,256,820 千円であり、前年比 146,807 千円増となる。固定負債 131,254 千円を含めた負債の合計は 343,530 千円である。

表 14 貸借対照表

【資産の部】		(単位千円)		
科目	本年度末	前年度末	増減	
固定資産	1,671,578	1,419,458	252,120	
有形固定資産	1,487,704	1,404,831	82,873	
その他の固定資産	183,874	14,627	169,247	
流動資産	585,242	690,555	△105,313	
資産の部合計	2,256,820	2,110,013	146,807	

【負債の部、基本金の部、消費収支差額の部】		(単位千円)		
科目	本年度末	前年度末	増減	
固定負債	131,254	37,466	93,788	
流動負債	212,276	210,363	1,913	
負債の部合計	343,530	247,829	95,701	
基本金	2,176,075	2,090,080	85,995	
消費収支差額	△262,785	△227,896	△34,889	
合計	2,256,820	2,110,013	146,807	

(参考)		(単位千円)		
正味財産	本年度末	前年度末	増減	
正味財産	1,913,290	1,862,184	51,106	

※正味財産=資産-負債

## (2) 経年比較

短期大学開学年度から当該年度までの推移は以下のとおりである。

表 15 貸借対照表

(単位千円)

項目	平成 20 年度末	平成 21 年度末	平成 22 年度末	平成 23 年度末	平成 24 年度末	平成 25 年度末	平成 26 年度末
固定資産	1,370,588	1,343,369	1,321,700	1,353,797	1,353,775	1,419,458	1,671,578
流動資産	604,455	550,725	552,035	601,319	680,445	690,555	585,242
資産の部合計	1,975,043	1,894,094	1,873,735	1,955,116	2,034,220	2,110,013	2,256,820
固定負債	12,986	16,230	16,646	18,486	34,410	37,466	131,254
流動負債	133,364	143,660	171,998	188,340	197,508	210,363	212,276
負債の部合計	146,350	159,890	188,644	206,826	231,918	247,829	343,530
基本金の部合計	1,947,889	1,970,045	1,986,369	2,025,375	2,058,989	2,090,080	2,176,075
消費収支差額の部合計	△119,196	△235,840	△301,277	△277,085	△256,687	△227,896	△262,785
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	1,975,043	1,894,094	1,873,735	1,955,116	2,034,220	2,110,013	2,256,820

表 16 資金収支計算書

(単位千円)

収入の部	平成 20 年度末	平成 21 年度末	平成 22 年度末	平成 23 年度末	平成 24 年度末	平成 25 年度末	平成 26 年度末
学生生徒等納付金収入	206,156	214,582	263,233	317,049	339,124	362,685	372,390
手数料収入	3,147	5,513	5,549	5,794	8,336	7,873	7,176
寄付金収入	1,200	630	600	410	7,386	3,307	270
補助金収入	2,503	1,991	0	53,449	57,327	59,391	56,637
資産運用収入	2,762	1,968	1,072	793	703	766	784
資産売却収入	0	0	0	0	0	0	1
雑収入	1,790	1,431	470	1,799	2,657	3,362	6,378
借入金等収入	0	0	0	0	0	0	96,000
前受金収入	116,011	140,062	167,900	178,800	189,890	197,755	195,525
その他の収入	212	55,132	56,382	62,962	84,020	87,019	86,170
資金収入調整勘定	△110,242	△116,011	△141,057	△168,566	△179,824	△191,432	△205,274
当年度収入合計	223,539	305,298	354,149	452,490	509,619	530,726	616,057
前年度繰越支払資金	698,564	604,391	550,725	551,770	594,173	660,835	680,194
収入の部合計	922,103	909,689	904,874	1,004,260	1,103,792	1,191,561	1,296,251

(単位千円)

支出の部	平成 20 年度末	平成 21 年度末	平成 22 年度末	平成 23 年度末	平成 24 年度末	平成 25 年度末	平成 26 年度末
人件費支出	192,287	187,011	193,460	185,505	214,328	227,093	220,657
教育研究経費支出	62,141	61,986	57,661	57,290	63,150	59,370	73,363
管理経費支出	37,283	28,742	29,499	33,725	35,050	54,815	30,082
借入金等利息支出	0	0	0	0	0	0	685
施設関係支出	3,683	564	305	65,548	25,944	67,003	138,366
設備関係支出	30,731	10,860	16,494	4,479	8,069	26,952	23,420
資産運用支出	0	0	0	0	0	0	151,138
その他の支出	8,922	73,313	59,684	72,028	109,572	105,675	104,400
〔予備費〕	0	0	0	0	0	0	0
資金支出調整勘定	△17,334	△3,512	△3,999	△8,488	△13,156	△29,541	△14,440
次年度繰越支払資金	604,390	550,725	551,770	594,173	660,835	680,194	568,580
支出の部合計	922,103	909,689	904,874	1,004,260	1,103,792	1,191,561	1,296,251

表 17 消費収支計算書

(単位千円)

消費収入の部	平成 20 年度末	平成 21 年度末	平成 22 年度末	平成 23 年度末	平成 24 年度末	平成 25 年度末	平成 26 年度末
学生生徒等納付金	206,156	214,582	263,233	317,049	339,124	362,685	372,390
手数料	3,147	5,513	5,549	5,794	8,336	7,872	7,176
寄付金	3,949	843	600	603	10,173	7,437	2,015
補助金	2,503	1,991	0	53,449	57,327	59,391	56,637
資産運用収入	2,762	1,968	1,072	793	703	766	784
資産売却収入	0	0	0	0	0	0	0
資産売却差額	0	0	0	0	0	0	1
雑収入	1,790	1,431	470	1,799	2,657	3,362	6,378
帰属収入合計	220,307	226,328	270,924	379,487	418,320	441,513	445,381
基本金組入額合計	△53,120	△22,155	△16,324	△40,341	△33,614	△31,091	△89,753
消費収入の部合計	167,187	204,173	254,600	339,146	384,706	410,422	355,628

(単位千円)

消費支出の部	平成 20 年度末	平成 21 年度末	平成 22 年度末	平成 23 年度末	平成 24 年度末	平成 25 年度末	平成 26 年度末
人件費	194,800	190,255	193,876	187,344	230,252	230,150	226,137
教育研究経費	99,790	101,037	95,276	94,360	99,534	94,903	118,319
管理経費	37,421	29,350	30,091	34,022	34,476	54,918	49,133
借入金等利息	0	0	0	0	0	0	685
資産処分差額	0	175	64	562	46	1,660	0
徴収不能引当金繰入額	0	0	730	0	0	0	0
消費支出の部合計	332,011	320,817	320,037	316,288	364,308	381,631	394,274
当年度消費収支超過額	△164,824	△116,644	△65,437	22,858	20,398	28,791	△38,646
前年度繰越消費収支超過額	45,627	△119,196	△235,840	△301,277	△277,085	△256,687	△227,896
基本金取崩額	0	0	0	1,334	0	0	3,758
翌年度繰越消費収支超過額	△119,196	△235,840	△301,277	△277,085	△256,687	△227,896	△262,784



貸借対照表関係比率							
区分				本法人 平成26年度	保健系学科 短大・高専平均 平成25年度 ※	学生数200～500 人 短大・高専平均 平成25年度 ※	評価 △ 高い値がよい ▼ 低い値がよい ～ どちらともいえない
貸借対照表関係比率	自己資金は充実されているか	自己資金構成比率	$\frac{\text{自己資金}}{\text{総資金}}$	84.8%	80.3%	84.0%	△
		基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	95.8%	95.4%	97.4%	△
	資産構成はどうか	固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	74.1%	75.4%	79.7%	▼
		流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	25.9%	24.6%	20.3%	△
	負債に備える資産が蓄積されているか	内部留保資産比率	$\frac{\text{運用資産} - \text{総負債}}{\text{総資産}}$	18.9%	10.9%	22.4%	△
		流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	275.7%	206.8%	260.2%	△
		前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	290.8%	257.4%	328.3%	△
	負債の割合はどうか	固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資金}}$	5.8%	7.8%	8.1%	▼
		流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総資金}}$	9.4%	11.9%	7.8%	▼
		総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	15.2%	19.7%	16.0%	▼
		負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}}$	18.0%	24.5%	19.0%	▼

※は、日本私立学校振興・共済事業団（H27.2.5作成）によります

消費収支関係比率							
区分				本法人 平成26年度	保健系学科 短大・高専平均 平成25年度 ※	学生数200～500 人 短大・高専平均 平成25年度 ※	評価 △ 高い値がよい ▼ 低い値がよい ～ どちらともいえない
消費収支計算関係比率	経営状況はどうか	帰属収支差額比率	$\frac{\text{帰属収入} - \text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	11.5%	5.0%	4.3%	△
	収入構成はどうか	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{帰属収入}}$	83.6%	75.5%	65.7%	～
		寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{帰属収入}}$	0.5%	0.2%	1.5%	△
		補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{帰属収入}}$	12.7%	10.1%	16.3%	△
	支出構成は適切であるか	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	50.8%	51.2%	56.6%	▼
		教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	26.6%	21.9%	25.1%	△
		管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	11.0%	21.1%	13.3%	▼
	収入と支出のバランスはとれているか	人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	60.7%	67.9%	86.1%	▼
		消費収支比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$	109.7%	99.1%	100.6%	▼

※は、日本私立学校振興・共済事業団（H27.2.5作成）によります